

事務事業名	介護予防ケアマネジメント事業			担当	健康福祉部 福祉課 地域支援係		
政策名	C	思いやりと安心に満ちたみんな元気なまちづくり		電話番号	0285-83-8132		
施策名	5	高齢者の自立と社会参加の支援		<input type="checkbox"/> 実施計画上の主要事業			
基本事業名				事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ		
法令根拠	介護保険法 115条の45第1項第5号				<input type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 H18 年度~)		
予算科目	5.介護保険特別会計(保険事業助定)	3.地域支援事業費	2包括的支援事業任意事業		<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度~ 年度)		
事業概要	地域包括支援センターが要支援者及び二次予防事業対象者の介護予防ケアマネジメントを実施する。要介護状態となることの予防と要介護状態の悪化予防の一体的対応のため、要支援1、要支援2の予防給付のケアマネジメントと、二次予防事業対象者の介護予防事業のケアマネジメントを行う。新予防給付のケアマネジメントの業務の一部を指定居宅介護支援事業者に委託することができる。予防給付のケアマネジメント費(介護予防支援費)は基本報酬が4,206円/月で、初回加算が3,063円/月である。						

1. 現状把握の部 (1) 事務事業の目的と指標

①手段(主な活動) 24年度実績 予防給付のケアプラン作成は、地域包括支援センターと事業所への委託により行った。二次予防事業対象者は、地域包括支援センターが作成したケアプランに基づき、介護予防プログラムを実施した。 25年度計画 前年度と同様	⑤活動指標(事務事業の活動量を表す指標)の推移								
	名称		単位	21年度(実績)	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(見込)	
	ア	予防給付ケアプラン作成数	人	210	241	248	270	278	
	イ	二次予防事業の対象者ケアプラン作成数	人	278	317	352	430	442	
	ウ エ オ								
②対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等 65歳以上の高齢者	⑥対象指標(対象の大きさを表す指標)の推移								
	名称		単位	21年度(実績)	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(見込)	
	ア	第1号被保険者数	人	16,059	16,160	16,456	17,144	17,900	
	イ	要支援1・2該当者数	人	283	344	344	383	394	
	ウ	二次予防事業の対象者数	人	830	1,838	3,463	2,484	2,559	
エ オ									
③意図(この事業によって、対象をどう変えるのか) 要介護状態となることの予防と要介護状態の悪化を予防する(プラン作成の割合)	⑦成果指標(対象における意図された対象の程度)の推移								
	名称		単位	21年度(実績)	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(見込)	
	ア	新予防給付ケアプラン作成数/要支援1・2該当者数	%	74.2	70.0	72.1	70.5	70.5	
	イ	特定高齢者ケアプラン作成数/二次予防対象者数	%	33.5	17.2	10.2	17.3	17.3	
	ウ エ オ								
④結果(どんな結果(上位施策)に結びつけるのか) 地域で自立した生活を送れる高齢者を増やしていく	⑧上位成果指標(結果の達成度を表す指標)の推移								
	名称		単位	21年度(実績)	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(見込)	
	ア	要支援1・2該当者数/第1号被保険者数	%	1.77	2.13	2.09	2.23	2.20	
	イ ウ エ オ								
(2) 総事業費の推移									
投入量	事業費	財源内訳	国庫支出金	千円	16,415	16,446	15,274	15,607	0
			県支出金	千円	8,207	8,223	7,637	7,803	0
			地方債	千円	0	0	0	0	0
			その他	千円	0	0	0	0	0
			一般財源	千円	15,910	15,939	14,805	16,103	0
	事業費計(A)			千円	40,532	40,608	37,716	39,513	0
	人件費	正規職員従事人数	人	2	2	2	2	0	
		延べ業務時間	時間	880	880	880	880	0	
		人件費計(B)	千円	3,569	3,756	3,733	3,698	0	
	トータルコスト(A)+(B)			千円	44,101	44,364	41,449	43,211	0
(3) 事務事業の環境変化・市民意見等									
①この事務事業を開始したきっかけは何か? いったいどんな経緯で開始されたのか?	平成12年度から介護保険制度が始まり、認定者が増加し、保険給付も大幅に増加しているために、包括的な介護予防を重視し、平成18年度からの改正により、本事業を開始した。								
②事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?	独居高齢者、高齢者のみ世帯など、要介護高齢者の増加と平行し、認定者数が増加、保険給付費も大幅に増加している。								
③この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?	特になし								

2. 1次評価の部 *原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	①政策体系との整合性 ・この事務事業の目的は、市の政策体系に結びつくか？ ・意図することが結果(上位施策)に結びついているか？	<input type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 見直し余地がある 要介護状態となることの予防は、住み慣れた地域で、安心して生活を送れる高齢者の自立と社会参加の支援に結びつく。
	②公共関与の妥当性 ・なぜこの事務事業を市が行わなければならないのか？ ・税金を投入して達成する目的か？	<input type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直し余地がある 介護保険法に必須事業として定められているため。
	③対象と意図の妥当性 ・対象を限定・追加すべきか？ ・意図を限定・拡充すべきか？	<input type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 対象を見直す必要がある <input type="checkbox"/> 意図を見直す必要がある 介護保険法で定められているので妥当である。
有効性 評価	④成果の向上余地 ・成果を向上させる余地はあるか？ ・成果の現状水準とあるべき水準の差異はないか？ ・何が原因で成果向上が期待できないのか？	<input type="checkbox"/> 向上余地はない <input type="checkbox"/> 向上余地がある 必要と思われる高齢者に対し、ケアプランを作成している。
	⑤廃止・休止の成果への影響 ・事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？	<input type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がない 介護保険法で定められているので、廃止・休止もできない。
	⑥類似事業との統合や連携の可能性 ・他に、類似の形態の事務事業はないか？	<input type="checkbox"/> 類似事業がある(類似の事務事業名を記載) <input type="checkbox"/> 類似事業はない
	・類似事業がある場合、その事業と統合したり連携を図ることができるか？	<input type="checkbox"/> 他の事業と統合・連携ができる <input type="checkbox"/> 他の事業と統合・連携できない
効率性 評価	⑦事業費の削減余地 ・成果を下げずに事業費を削減できないか？ (仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある 介護保険法で定められており、削減の余地がない。
	⑧人件費(延べ業務時間)の削減余地 ・やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？ ・成果を下げずに正社員以外の職員や委託でできないか (アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある 必要最小限の人件費で実施しているため、削減の余地はない。
公平性 評価	⑨受益機会・費用負担の適正化余地 ・事業の内容が一部の受益者に偏って不公平ではないか？ ・受益者負担が公正・公平になっているか？	<input type="checkbox"/> 公正・公平である <input type="checkbox"/> 見直し余地がある 介護保険法で定められており、公平・公正である。

3. 改革・改善方向の部

(1) 改革の方向性(改革案・実行計画) <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 見直し(<input type="checkbox"/> :目的妥当性 <input type="checkbox"/> :有効性 <input type="checkbox"/> :効率性 <input type="checkbox"/> :公平性) <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 継続	(3) 改革・改善による期待成果 <table border="1"> <tr> <td></td> <td></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
			コスト																					
		削減	維持	増加																				
成果	向上																							
	維持																							
	低下																							
(2) 改革、改善を実現する上で克服すべき課題は何か？それをどう克服していくか？																								

4. 事務事業の2次評価結果(事業の総括と事業の方向性)

(1) 1次評価結果の客観性と出来具合 <input type="checkbox"/> 記述説明不足(説明責任不充分) <input type="checkbox"/> 評価内容が客観性を欠く <input type="checkbox"/> 評価内容は客観的と言える	(5) 改革・改善による期待成果 <table border="1"> <tr> <td></td> <td></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
			コスト																					
			削減	維持	増加																			
成果	向上																							
	維持																							
	低下																							
(2) 2次評価者としての評価結果 ①目的妥当性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ②有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ③効率性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④公平性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり																								
(3) 2次評価者として判断した今後の事業の方向性 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的絞込み <input type="checkbox"/> 目的拡充 <input type="checkbox"/> 事業統廃合 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 <input type="checkbox"/> 予算削減 <input type="checkbox"/> 予算増大 <input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)	(4) その他2次評価会議で指摘された事項																							